

第10回 地域づくり部会 会議概要

日 時	令和8年1月22日(木) 午後2時45分~4時00分
会 場	豊栄地区公民館 第2研修室
出席委員	佐藤(茂)委員、恩田委員、大島委員、小林(幸)委員、小熊委員、近藤委員、佐藤(康)委員、橋本委員
欠席委員	細井委員、高橋委員
事務局 関係課	地域総務課(加藤補佐、外山主事) 北出張所(本田所長)
会議要旨	別紙「北区自治協議会地域づくり部会〈第10回〉提案事業の検討 北区の農業、こうあってほしい」のとおり

目的

北区の農産物がしっかりと消費されることで、
農業者のモチベーションアップと所得向上につなげ
北区全体が元気になってほしい

お互いを
知り合う

大学生（大学）と住民が
協働で取り組む

目的

北区には若者が活躍できる場
があることを知ってもらい、
定住促進につなげる

大学卒業後も
北区に残って
もらいたい

農家ともコラボ

北区農産物のブランド化
をプロデュースする

- ▶ 「北区といったらコレ！」
を作る

- ▶ 北区の農産物を使った
研究や加工品づくり

北区農産物の
知名度アップ

PR促進

- ▶ 広報紙で
- ▶ 各種取り組みを通じて

- ▶ 市民による「しるきーも」づくり
(大学の指導・遊休農地の活用・
新メニュー開発・周知・交流)

北区の農産物が購入され
使い切ってもらう
(廃棄をなくす)

- ▶ 廃棄する野菜を活用した新メニューの開発
→ (開発したら)
- ・ こども食堂で提供する
- ・ 葛塚市や松浜市で紹介し市の活性化につなげる

要確認

- * 農家側の課題やニーズを合っているか？
- * 学生（大学）との連携の可能性は？

宿題 上記のとおり、地域づくり部会の提案事業の目的と取り組みの方向性を確認しました。
「▶」印が具体的な取り組み案です。この結果をもとに、事前アンケートの意見も含め、より具体的な取り組み案を各自で考えてきてください。その際、前提条件や部会委員が何を担うかを考慮してお考えください。点線矢印は順序的ですが、どの部分の取り組みでも効果はあると考えます。また、取り組みは1つとは限りませんし、組み合わせても良いです。

第 1 1 回 地域づくり部会 会議概要

日 時	令和 8 年 2 月 26 日 (木) 午後 2 時 30 分～4 時 30 分
会 場	北区役所 303 会議室
出席委員	佐藤(茂)委員、恩田委員、大島委員、小林(幸)委員、小熊委員、近藤委員、 佐藤(康)委員、橋本委員、細井委員
欠席委員	高橋委員
事務局 関係課	地域総務課(加藤補佐、外山主事) 北出張所(本田所長)
会議要旨	別紙「北区自治協議会 地域づくり部会(第 11 回)提案事業の検討 実施する提案事業を確定しよう 結果報告」のとおり

実施する提案事業を確定しよう 結果報告

開催日時：2026年2月26日（木）14：30～16：00

会場：豊栄地区公民館

まとめ作成：ファシリテーター・山賀

第11回地域づくり部会では、各委員から出された事業アイデアをもとに実際に行う事業を検討し、決定しました。結果は以下のとおりです。当日の資料（事業アイデアの一覧表）と併せてご確認ください。

決定した事業

- * 地場の食材を使ったメニュー「北区〇〇」を開発する。
- * 開発したメニューを、北区内で開催されるイベントで食材とともにPRする。
- * 一連の内容を区だよりで発信する（予算の状況によっては他の発信手法も検討）。

決定に至るまでに出された主な意見は以下のとおりです。また、食料農業大学との連携の可能性について、地域総務課が事前に大学に問い合わせた回答も報告され、この内容も事業を決定する判断要素となりました。

【食料農業大学との連携の可能性について～大学への問い合わせと回答】

- ・ レシピを考案し、子ども食堂などで提供する → 胎内市で実績があるので可能。
- ・ 遊休農地で区民が耕作 → 実績はあるが、現地への移動手段が課題。
- ・ ほかのアイデアについても連携は可能であるが、取り組む学生がいることが前提である。
▶ 区としては、大学との連携協定をもとに連携できるよう働きかけを続ける。

【事前提出の事業アイデアに対する意見】

- ・ オリジナルレシピづくりは、区内のいくつかの小学校でスーパーとコラボして実施している（お弁当づくりなど）。
- ・ カレーペーストやフリーズドライは、野菜の見た目に関わらないので廃棄野菜を使いやすい。
- ・ 農家は本当に困っているのだろうか。農家との接点が大切だ。
- ・ “廃棄、されるものは少なく、“規格外、”という言い方が良い。
- ・ 規格外の野菜がどのくらい集められるのだろうか。JAを通したほうがいいのではないか。回収ルールの明確化は大切だ。
- ・ 以前JAではナシやトマト、ニンジンを使ってジャムづくりを行った。加工品は製造や販売に許可が必要。試作品であれば問題ない。
- ・ 遊休農地の利用については権利などの問題をどうクリアするか。また、借りられるかどうか未知数。
- ・ 農福連携も考えられそうだ。

【新規アイデア】

・食材・販売所・レシピなど、全般的に情報発信をしっかり行いたい。

- ① 北区の農産物の販売場所がわかるよう、現地にのぼり旗を立てる
- ② 統一キャラクターを作ってPRする
- ③ 区だよりで発信する

→現在も農業関係の発信を行っており、バージョンアップする。

・他の媒体での発信も必要ではないか

→医療福祉大では北区の情報インスタグラムで発信している。依頼することは可能である。

第 10 回 福祉教育部会 会議概要

日 時	令和 8 年 1 月 22 日（木） 午後 2 時 30 分～ 4 時 00 分
会 場	豊栄地区公民館 視聴覚室
出席委員	菊地委員、坪木委員、草間委員、小田委員、日下委員、佐久間委員、 小林（湧）委員、遠藤委員、渡邊（恵）委員
欠席委員	小柳委員
事務局 関係課	豊栄地区公民館（渡辺館長）、地域総務課（伊藤主査）
会議要旨	別紙「北区自治協議会 福祉教育部会(第 10 回)提案事業の検討まとめ」のとおり

北区自治協議会 福祉教育部会〈第10回〉提案事業の検討 まとめ

2026.1.22 (水) 豊栄地区公民館

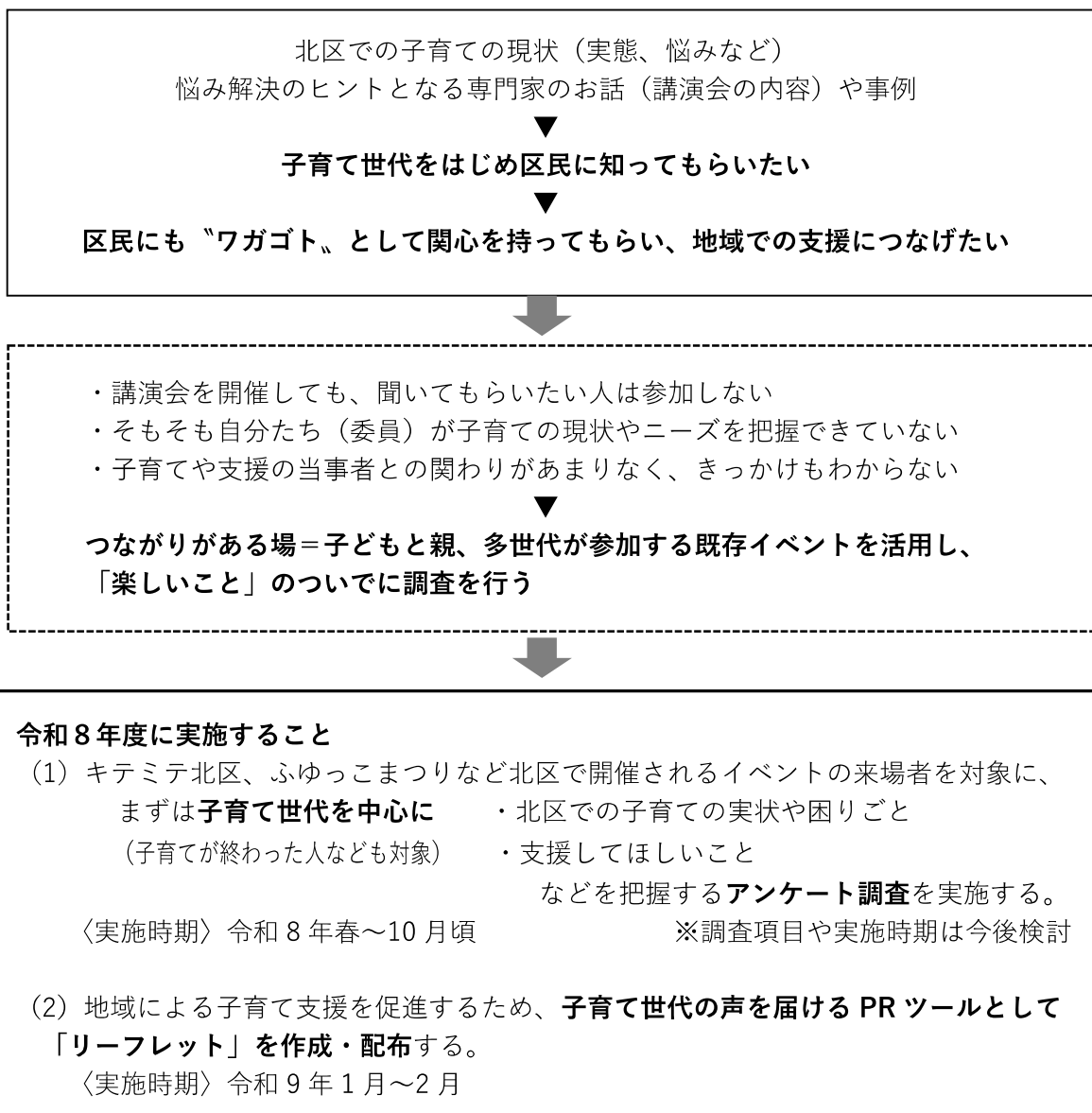
まとめ作成：ファシリテーター・乙川

第10回福祉教育部会では、「地域におけるこども・子育て支援」をテーマとして設定し、これまでの部会での取り組みや事前アンケート結果を踏まえ、「自治協として行う取り組み」についてアイデアを出し合いました。各自のアイデアやその理由をもとに話し合いを行った結果は以下のとおりです。

〈テーマ〉 地域におけるこども・子育て支援

〈目的〉 地域で子どもを育てる：地域がこどもの健やかな育ちや子育て世帯を支える
“社会の厚み”として機能すること

〈これまでの取り組み〉 子ども食堂視察／専門家を招いた講演会を開催（2回）／
部会委員アンケート



決定した取り組みについて、次回はアンケート調査の項目（内容）を検討することにしました。
その他に挙げられた検討が必要な事項は以下のとおりです。

〈話し合いの中で出された今後の検討事項〉

- ・ 事業名
- ・ アンケートの内容（項目）
- ・ どのイベントでアンケートを行うか（会場となる規模、参加しやすさ、回数なども考慮）
- ・ アンケートの取り方（二次元コードからネットにアクセスなど）
- ・ 回答数を増やすためのしかけ（景品検討・準備）
- ・ 実施スケジュール
- ・ 各委員、事務局の役割分担をする
- ・ 他団体や事業との連携の可能性はあるか
- ・ PR 方法の検討（コミ協や地域にどのように情報を届けるか）
- ・ リーフレット等の作成（1～2月完成予定）

第 1 1 回 福祉教育部会 会議概要

日 時	令和 8 年 2 月 26 日 (木) 午後 0 時 15 分～ 1 時 50 分
会 場	北区役所 303 会議室
出席委員	菊地委員、坪木委員、草間委員、小田委員、佐久間委員、小林 (湧) 委員、遠藤委員、渡邊 (恵) 委員、日下委員
欠席委員	小柳委員
事務局 関係課	豊栄地区公民館 (渡辺館長)、地域総務課 (伊藤主査)
会議要旨	別紙「北区自治協議会 福祉教育部会(第 11 回)提案事業の検討アンケート調査の詳細を決める 結果報告」のとおり

アンケート調査の詳細を決める 結果報告

開催日時：2026年2月26日（木）12：15～13：50

会 場：豊栄地区公民館

まとめ作成：ファシリテーター・山賀

第11回福祉教育部会では、これまで検討してきた提案事業のゴール（成果等）を確認するとともに、成果につなげるアンケート調査の実施内容の詳細について話し合いました。結果は以下のとおりです。当日の資料と併せてご確認ください。

1. アンケート調査の目的や方針の確認

話し合いの中では、あらためてアンケート調査の目的や実施方針を確認しました。

【目的】

- 地域の実状を知るため
- 私たち（自治協）ができることを把握するため
- 実状をリーフレットで周知することで、地域での取り組みのモチベーションを上げるため

【実施方針】

- “地域としての厚み”を増すために、調査対象は子育て世代にあまり限定しない
- 回答しやすくするために質問数は少なくシンプルにする

2. アンケート調査の項目

項目案をもとに話し合い、一部を修正して最終案を作成しました（本報告の最後に提示）。なお、この最終案でインターネット回答用の画面（フォーム）を作成し、回答のしやすさなどを委員が確認・再検討したうえで確定版として仕上げることとなりました（4月部会で実施予定）。

話し合いの中では以下の意見が出され、フォーム作成後の最終確認時に考慮することとなりました。

- Q2やQ5では現状（いまあるかどうか）も聞いてもいいのではないか。
- 居住地について、北区内と外のバランスに注意したい（北区外が多くなることを懸念）。
- アンケート調査の主旨がわかる題名が必要ではないか。

→題名によっては回答者が限られたり関心を生まない可能性があるため、簡単な説明としたい。

3. アンケート調査の実施方法

案どおりで行うこととなりました。加えて、インターネットで回答しづらい方のために紙の調査票も用意することとなりました。

3	<p>(話せる環境の充足度) 不安や悩みごとなどを気軽に話せる人は近く(地域)にいますか？</p> <p>【選択肢】</p> <p><input type="checkbox"/> いる</p> <p><input type="checkbox"/> いない</p> <p><input type="checkbox"/> いないが、いて欲しいと思っている</p>	案どおり
4 -1	<p>(現状の情報入手実態) 暮らしの中で悩みや疑問があるとき、<u>最初に頼</u>ることが多いのはどれですか。</p> <p>【選択肢】</p> <p><input type="checkbox"/> 家族・友人など身近な人</p> <p><input type="checkbox"/> 保育園・幼稚園・学校</p> <p><input type="checkbox"/> SNS・インターネット・AI</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>	<p>(現状の情報入手実態) 暮らしの中で悩みや疑問があるとき、<u>最初に頼</u>ることが多いのはどれですか。</p> <p>【選択肢】</p> <p><input type="checkbox"/> 家族・友人など身近な人</p> <p><input type="checkbox"/> 保育園・幼稚園・学校・職場</p> <p><input type="checkbox"/> SNS・インターネット・AI</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>
4 -2	<p>(情報入手元の意向) 暮らしの中で悩みや疑問があるとき、実際に頼りたい・相談したいのはどれですか。</p> <p>【選択肢】</p> <p><input type="checkbox"/> 家族・友人など身近な人</p> <p><input type="checkbox"/> 保育園・幼稚園・学校</p> <p><input type="checkbox"/> SNS・インターネット・AI</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>	<p>(情報入手元の意向) 暮らしの中で悩みや疑問があるとき、実際に頼りたい・相談したいのはどれですか。</p> <p>【選択肢】</p> <p><input type="checkbox"/> 家族・友人など身近な人</p> <p><input type="checkbox"/> 保育園・幼稚園・学校・職場</p> <p><input type="checkbox"/> SNS・インターネット・AI</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>
5	<p>(具体的に望まれている地域行動) 地域の方との関わりで、あるとうれしいことは何ですか。(複数回答可)</p> <p>【選択肢】</p> <p><input type="checkbox"/> あいさつ</p> <p><input type="checkbox"/> 温かい見守り</p> <p><input type="checkbox"/> 話を聞いてもらえること</p> <p><input type="checkbox"/> 子育て情報の共有</p> <p><input type="checkbox"/> 地域行事への誘い</p> <p><input type="checkbox"/> 特にない</p>	<p>(具体的に望まれている地域行動) 地域の方との関わりで、あるとうれしいことは何ですか。(複数回答可)</p> <p>【選択肢】</p> <p><input type="checkbox"/> あいさつ</p> <p><input type="checkbox"/> 温かい見守り</p> <p><input type="checkbox"/> 話を聞いてもらえること</p> <p><input type="checkbox"/> 子育て情報の共有</p> <p><input type="checkbox"/> 地域行事への誘い</p> <p><input type="checkbox"/> その他(具体的に書きください→)</p> <p><input type="checkbox"/> 特にない</p>
6		<p>(自由記述欄を新規追加) あなたのお住まいの地域で感じていることを自由にお書きください。</p>

第 8 回 自然文化部会 会議概要

日 時	令和 8 年 2 月 26 日（木） 午後 1 時 30 分～2 時 30 分
会 場	豊栄地区公民館 301 会議室
出席委員	倉島委員、諏訪委員、野口委員、馬委員、吉田委員
欠席委員	藤田委員、マルシェフ委員、飛鳥井委員、桜井委員、渡邊（悠）委員
事務局 関係課	区民生活課（高野課長）、地域総務課（田中補佐、本田係長）
会 議 要 旨	<p>1 スポ GOMI 実施に向けた詳細事項の検討結果について</p> <p>（1）実施時期の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 準備期間や関係機関との調整期間等を考慮し協議した結果、スポ GOMI の実施時期を 10 月で調整する。 <p>（2）実施場所の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催場所について協議を行った結果、以下の候補地を選定した。 <ul style="list-style-type: none"> 【海岸部】海辺の森、南浜漁港、東港周辺（東港周辺クリーン作戦と連携する意見あり） 【内陸部】福島潟及び放水路周辺（葛塚中学校区清掃と連携する意見あり） ・ 次回の部会において具体的な開催場所を決定する予定。 <p>2 確認事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然文化部会の「自治協議会提案事業 事業評価書（案）」について内容を確認し、原案のとおり確定した。 ・ 区だより（3 月 15 日号）に掲載予定の自治協議会だより（自然文化部会活動報告）について、掲載内容を確認した。